

減災 NEWS

近畿大学奈良病院DMAT災害対策委員会

文責：西村宗二郎・橋本賀幸

vol. 04

2022. 2. 14

DMATをご存じでしょうか？



みなさんこんにちは。

今回は、災害発生時に被災地で支援を行う災害派遣医療チーム (DMAT) についてご紹介します。



そもそもDMATって何？



・DMATとは

近年、災害が多く発生している中でみなさんも「DMAT」という言葉を耳にしたことはありませんか？DMATとは災害派遣医療チーム (Disaster Medical Assistance Team) のことを言い、被災地に迅速に駆けつけ救急医療を行うため、専門的な研修・訓練を受けた医療チームのことです。当院では、医師3名、看護師8名、臨床工学技士2名、放射線技師1名、薬剤師1名、事務職員2名がDMATとして登録されていますが、DMATになるために職種は関係ありません。



DMATはいつも何をしているの？



・DMATの活動

普段DMATがどのような活動をしているか分からない方も多いと思いますので、簡単にご紹介します。DMAT (災害派遣医療チーム) の名のごとく、皆さんがイメージされる内容は被災地の救急医療活動だと思えます。これも大切な役割ですが、災害が起こっていない時は何をしているのか？各所属病院で災害に備えた活動を日頃から行っています。例えば、①災害マニュアルの作成、②食料・飲料水・医薬品の備蓄管理、③出勤時の物品の定期チェック、④災害訓練の実施などです。

当院は奈良県の災害拠点病院ですので、有事の際にはぜひ頼って下さい。また、日頃からの疑問なども、【患者様の声】でご質問いただければお答えいたします！

12月18日に近畿地方DMATブロック訓練が和歌山県主催で開催され、当院からもDMAT I 隊が参加したのでその時の報告をさせていただきます。

紀北地域を中心とした大規模地震災害を想定した災害医療活動訓練で、当院のDMAT隊は緊急車両で現地に向かい、被災した病院の支援活動という任務が与えられました。病院到着後、被災状況の情報を収集した結果、建物倒壊の恐れから病院避難の判断をしました。次に詳細な患者情報を収集し、搬送順位や方法について他施設のDMAT隊と検討しながら対応していくという訓練でした。

来年は奈良県が主催になるので、当院としても多くのDMAT隊を受け入れる準備を開始しています。



ご意見やご感想、ご質問等ございましたら、【患者さまの声】にお願いします。
(患者さまの声は、2階MACHIcafe右横の電話コーナー、各デイルームに設置しています。)